



# WHAT IS TEACHING PORTFOLIO?

Kayoko Kurita,  
The University of Tokyo



# 目標

---

- はじめに
- TPの意義を説明できる
- TPにおけるリフレクションを体験する

# AGENDA

---

- はじめに
- ティーチング・ポートフォリオ（TP）とはなにか
- TP作成の意義
- TPの特徴
- TPの構成
- TPの作成方法

# はじめに

---

- 自己紹介

- Name: Kayoko Kurita, Ph.D. Deputy Director, associate professor
- Affiliation:  
Center for Research and Development of Higher Education, The University of Tokyo
- Research theme: Implementation of teaching portfolio
- Education: UTokyo Future Faculty Program



# ティーチング・ポートフォリオ（TP）とは何か

---

- 自身の教育活動についてのリフレクションにもとづき、記述された本文と、その内容を裏付ける根拠資料から構成される文書
- 1980年代にカナダで開発、その後アメリカ等で普及
- 日本でも、教育改善のツールとして普及しつつある



# TP作成の意義

---

- 作成プロセスにおける自己省察
  - 教師としての自覚・成長
  - 改善すべき事項への気付き
- 教育活動の可視化
  - 教育業績評価資料として機能
  - 優れた教育活動の共有
  - 優れた取り組みの発信



# TPの特徴

---

- 自己省察による作成
- 経験年数や専門分野を問わず作成可能
- 根拠に基づく文書
- 厳選された情報



# TPの構成

---

- 本文
  - 責任 (なにをやっているか?)
  - 理念・方針 (なぜやっているか?)
  - 方法 (どのようにやっているか?)
  - 成果・評価 (どうだったか?)
  - 目標 (これからどうするのか?)

上記の構造が一貫性を持つことが重要

上記は構造として必要な要素であり、実際の見出しとしては適宜変更してもよい

# TPの構成

---

---

- 根拠資料

- 本文の記述を裏付けることで教育業績評価資料としての公正性を担保

Table 1 エビデンスの例

責任	シラバス、依頼状、担当表、開催告知のチラシ
方法	シラバス、授業案、テスト原本、レポート課題、配布資料、スライド資料 板書用ノート、動画、写真、授業評価結果
改善	改善前後の授業案、新しくとりいれた方法についての資料
努力	研修参加証、修了証、資格取得証、勉強会開催告知案内
成果	学生の最終課題例、就職率、就職先、卒業論文タイトル、学生の学会発表
評価	授業評価結果、授業参観評価、学生からのメール、TAによる評価、教育賞賞状、 研究課題採択通知

# TPの作成方法

---

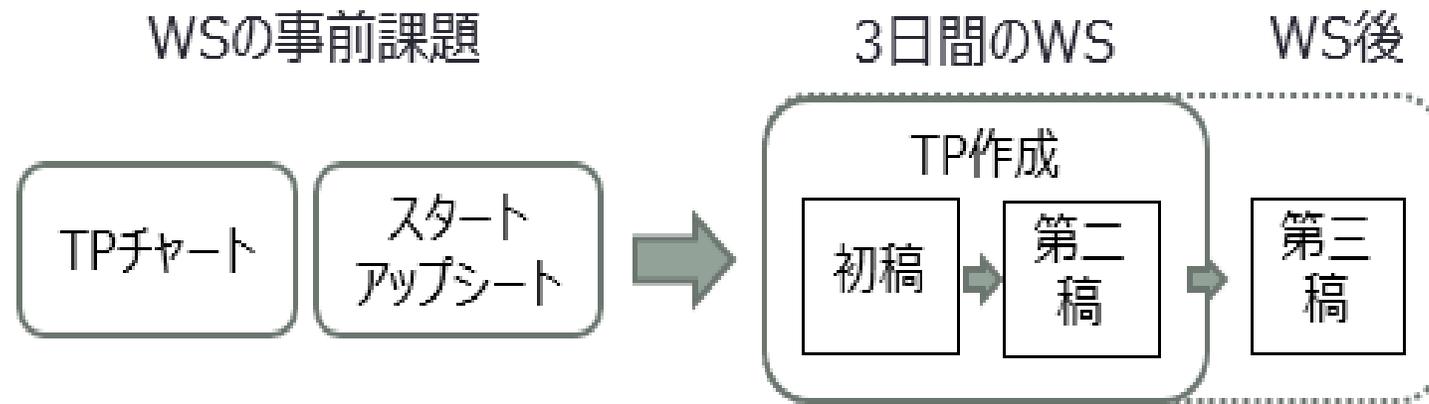


図1 TP作成の流れ

## リフレクションのワーク

---

- (個人) いつも行っていることを一つ挙げてください。
- (個人) それは学生あるいはあなたにとってなぜ重要なのですか？
- (ペア) お互いに共有しましょう。

# Thank you

---

Please let me know if you have any questions about TP

[kurita@he.u-tokyo.ac.jp](mailto:kurita@he.u-tokyo.ac.jp)

# References

---

- 栗田佳代子（編）（2009）評価結果を教育研究の質の改善・向上に結びつける活動に関する調査研究会報告書「日本におけるティーチング・ポートフォリオの可能性と課題 ―ワークショップから得られた知見と展望―」大学評価・学位授与機構（access date: [http://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2009/05/27/houkokusho\\_tp200903.pdf](http://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2009/05/27/houkokusho_tp200903.pdf)）
- 栗田佳代子・吉田壘・大野智久（2018）「教師のための『なりたい教師』になれる本」学陽書房
- Kurita, K. (2013) Structured strategy for implementation of the teaching portfolio concept in Japan, *International Journal for Academic Development*, *International Journal for Academic Development*, 18(1), 74-88
- 杉本均（1997）アメリカの大学におけるティーチング・ポートフォリオ活用の動向, 京都大学高等教育叢書 2 14-30
- セルディン P著 大学評価・学位授与機構監訳, 栗田佳代子訳（2007）『大学教育を変える教育業績記録』, 玉川大学出版部, (Peter Seldin (2004) *The Teaching Portfolio: A practical guide to improved performance and promotion/tenure decisions* 3rd ed. Anker Publishing Company, Inc.)